

# ラムザ・デンタル通信

## LAMZA DENTAL SUPPORT



発行日:  
2016年12月

Vol.36

〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和2-40-3 第一大井ビル2F TEL/048-871-0800 FAX/048-871-0801

### 年始年末急患対応致します!

歯の痛みは突然やつてきます。

しかも医療機関が長期お休みの時に！  
考えただけでもゾットしますね。

自分の事なら我慢すれば？いいのですが、  
やはりご心配なのはお身体がご不自由な  
ご家族や担当する利用者様の事ではない  
でしょうか？

24時間365日介護されている方々と  
比べると誠に微力ではありますが、下記の  
日程にて急患対応させて頂きます。



日程	12/28(水)～1/3(火)
時間	9:00～11:00の受付→ <b>当日対応</b> 11:00～12:00→ <b>翌日対応</b>
対象	通院困難な方で痛みのある方
連絡先	<b>048-871-0800</b> (ラムザ歯科サポート)

### 口腔内細菌が人をダメにする①

#### 虫歯菌が脳出血を助長する

今年2月大阪大の大嶋隆教授や  
和田浩一郎准教授、浜松医科大学の梅  
村和夫教授らは虫歯菌(ミュータンス  
菌)に脳出血を促すタイプが存在  
する事を突き止めました。保菌者の  
脳出血の発症リスクはそうでない  
人の4～5倍だそうです。

この菌(cnm遺伝子保有株)は皮  
膚や骨などになるコラーゲンと結  
合するたんぱく質を作る特殊な種  
類。  
脳出血患者74人を調べると27  
%が感染していました。健康な35  
人でも9%が感染しており、両者を  
分析すると、この菌に感染すること  
で脳出血の危険性は4～5倍に高  
まるそうです。日本人の約8割が保  
有する菌で、脳出血の患者の約3割  
がこの菌の保有者でした。

患者から採取した菌をマウスに投  
与し、血管内皮に傷を付けるとこの  
菌が下層のコラーゲン繊維にどん  
どん集まり、血小板による傷の修復  
が間に合わず出血を起しました。  
また、出血をしているマウスに投与  
すると出血面積は5～6倍に広が  
り、高血圧のラットでは7倍に広が  
ったそうです。

和田教  
授らは菌を  
検出する簡  
易な用具の  
開発をす  
めており、  
菌除去方法  
の研究に取  
り組んでい  
るそうです

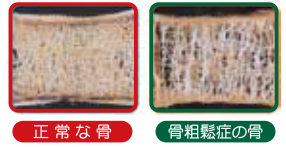


脳出血を起こしたマウスの脳

### おもなしい

#### ビスフォスフォネートの活躍

BP剤は破骨細胞の活動を阻  
害し、骨の吸収を防ぐ医薬品で  
す。骨粗鬆症、変形性骨炎(骨ペ  
ーチエツト病)、腫瘍(高カルシ  
ウム血症)の有無にかかわらず  
の骨転移、多発性骨髄腫、骨形  
成不全症、その他骨の脆弱症を  
特徴とする疾患の予防と治療に  
用いられる(ウィキペディアより引用)  
有効な医薬品として約100万  
人が服用しています。副作用と  
して抜歯等、大きな変化が骨に  
加わった時、通常なら速やかに  
自然治癒する傷が、BP剤の影響  
で治癒が阻害され時に重篤な  
顎骨破壊(難治性壊死  
BRONJ)が発生する事が問  
題となっています。このBP剤意  
外なところでも活躍しているの  
を聞いていますか?宇宙に行く  
と健康者であっても高齢者の骨  
粗鬆症者の10倍の速さでカル  
シウム成分が骨から血中や尿に  
溶け出してしまいます。大腿骨  
や腰椎の骨密度は1ヶ月で平均  
約1.0%～1.5%のペース  
で減少するそうです。その為宇  
宙飛行士は定期的に服用してい  
るそうです。意外な  
活躍ですね。もし、  
宇宙飛行士が歯科  
医院に来たら注意  
しましょう。



正常な骨 骨粗鬆症の骨

### 訪問リハビリテーション

**対象者** 言語障害・嚥下障害・高次脳障害等のある方  
**対象エリア** さいたま市(南区・浦和区・桜区・緑区・中央区)  
戸田市(一部)・川口市(一部)  
**訪問日** 月曜日～金曜日  
**訪問時間** 9:30～16:00  
介護保険適応→必要単位:1単位=302点  
※基本2単位です  
※自費でのご利用も可能です  
※詳細については、お問い合わせください。  
**連絡先: (株)ラムザ歯科サポート**  
**電話: 048-871-0800 (担当: 吉田 直行)**

### 言語聴覚士(ST)紹介

始めまして、今年  
8月からラムザ歯  
科クリニック訪問  
リハビリ部門の管  
理者として働く事  
になりました。STの  
吉田直行と申します。今まで病院(急  
性病期・回復期)と大サービスで働き、  
入院から在宅までのリハビリに携わ  
ってきました。これまでの臨床経験  
を活かし利用者様に満足して頂ける  
リハビリを提供していきたいと思っ  
ています。9月には舌圧測定器を導  
入しました。これを内視鏡検査と併  
用することで、より客観的な嚥下評  
価が行えるようになっていきます。また  
来年2月からは新しい常勤STも入社  
予定ですので、言語障害や嚥下障害・  
高次脳障害でお困りの方がいらっし  
やいましたら是非ご紹介下さい。  
現在、空き状況に余裕がありますの  
で時間や曜日の調整は可能です。  
どうぞ今後とも宜しくお願い致します。

